

有藤藏

昭和二十一年

自八月三十一日

福光疎開学園日誌

第二輯

東京女子高等師範学校  
附属国民学校

三年級



六月十二日

火曜 雨

河野

二時間目に國語のかうそをした。軍艦生活の朝をなた。三時間目は宮地先生がしゃらないので自習をした。四時にあ關東平野をならった。は寮に歸つて日記を書いた。後、みんな集まって、丸くなり、にお話や笑話をしたり、本を借りして遊んだ。とてもおもた。途中でだめになったのがほんだった。



いあう  
間目  
午後  
その  
順々  
讀ん  
白か  
ざん

六月十三日

水曜日 雨

古藤

今日も雨が降つてゐる。

二時間目 園工の時間にきりりなも様を書いた。四時間目も五時間目も先生がみらつてやういので日記をつけたりました。

午後から、両舎で本をよん。だりしました。すこしなつと銭湯。

た。前田先生もきぬら。た。お風呂へ入ると

た。お風呂へ入ると

た。お風呂へ入ると

た。お風呂へ入ると

た。お風呂へ入ると

た。お風呂へ入ると

た。お風呂へ入ると



だりしました。すこしなつと

た。お風呂へ入ると



しました。今日月中雨がふつてぬたの外  
で遊んだため、残念でした。



六月十七日 (日曜日) 晴 本間  
 今日はい全校たんれんおありました。一番  
 日兵戦を主としてやりました。

いこでした。柔道もたいたい同じで、  
 せれからうやまのボールを大さく  
 ルにおろつけるので、三發つ、五  
 回もして、あたらない人もあり、  
 僕は四回し  
 した。そのり  
 の剣道で  
 石田先生の  
 た。それから  
 しあいを  
 終ると、審判  
 年だけ教  
 た。午後から  
 を書いたり  
 りました。

ってから、さんぽに行きました。小矢部  
 川でした。はじめは石をなげたり  
 て遊んでおると、審判先生が向か  
 り岸へ行つて見るとおっしゃったので、二人  
 づつ組になつて渡りました。一番始めは、岩  
 倉君と、三部四年の昭英でした。順々に渡  
 って行つて、みんな渡つてしまひました。そ  
 れから、よしの葉で笛を作りました。僕の作  
 ったのは、よくならなかつたので、みんな  
 捨てるしまひました。五六枚取つて、作つ  
 たけれど、みんなならないので、捨てるし  
 まひました。一番、をしまひのは、ハッポウの  
 代用にして、小矢部川へ流してやり



全部集合して、  
 しました。全部  
 先生が、三部五  
 へて下さいます  
 寮舎で日記  
 遊んたりして  
 夕食後少し  
 した。それから  
 體當りです。  
 彼は、八銀先生  
 した。それから  
 體當りです。



つてしまひました。おどこを敷く前にの  
みとり粉をまいていたたきまして、その  
夜は少しおろくなつたので、はん省會  
が、あつませんしてした。

早く静しく静まりぬ。何時ものまゝでは  
しぬ。

今日夏河野節大君に決録の子紙ありて、  
か紙んで困是すしぬ。

押啓 おぼろあふらう いたもえんを 舞うらう

主野々 意々くあ山由 作書訓練の様子など

身にこやうに わかすす えん上 牛白おぼろ  
東も後もより面白く せんていらいも依りあり

帝神は直學堂敷に 見のわゆる短のふらぬ  
ふて思の度むらうとと 敵愾心は燃え上り

敵と討たれはさあむと 決意はあふと何の  
いふ百本柳を落さうと 初めよく國にあらん

其のつてはさうをんも 武器を手にしてまゝ  
正取公の心にて 持取物や押しん

吾輩の志士一人也、 ちげに追放す味を

夢にうたふ教文すや 命大の仇を討つわらう

心あつはさるるに 如國を長たせんと

おねれ田男のあつた とうと人あつた心

秘伝のつしるは 秘伝のつしる



六月二十一日 木曜日 晴 森

今日は、午前中この前きかへた下着をば  
んだ班と、大えい班はしん館のせんめん所では  
した。してゐると、へん  
な、爆音がしたのでき  
いてゐる「ボー」と、

警戒警報にな  
りました。

午後 守口君と僕は音  
樂室で音楽のれんしゅう  
をしました。



かへつてみら、二十五日のはつひよう會のかみし  
ばいのゑをかきました。夕食までにはだいが  
かきました。夕食後にかきました。しゅう  
しんよういまでにあと二枚かけばいぐら  
になりました。

しようだうの後ほたるかとても光つてぬ  
ました。



六月二十三日 金曜日 晴

今日は青少年學とにたまはった  
ちよくごをおくだしになつた日  
です。

朝お宮のけいだいで、お式と朝  
會がありました。

それがおはるとすぐに寮へ歸  
つて、紙しば居のゑを書きまし  
た。

とてもよかったです。うれし  
いでした。

そして、あとはやすみ  
ました。

僕は何紙を書きました。  
晝食後森君と僕と  
は、音楽をれんしゅ  
うしました。

歸つて見るともうりつ  
ぱな紙しば居が出来て  
みました。

しばらくして豆をいただ  
きました。

とてもおいしいでした。  
四時になつたのでお風呂  
に行きました。

夕食後けんきゅう  
班で、こやしをきりうりやにんじん  
にかけました。

僕は心の中、早く大きくなれ早く  
大きくなれ、といひました。

しけんちんちよつと前にほ  
んしきに紙しば居をやつて見まし  
た。

とても文もゑもわくもよく出来て  
わたのでうれしうでした。

夜はんせい會がひさしぶりでありま  
した。





六月二十七日 (水曜日) 晴 河野

今日は朝から、(や)のたたみあげをした。朝のて  
んこの後、すぐたたみを校庭に運

んだ。午前中は、西太  
美村に薪運びに行

った。午後、ぼくた  
ちは行くはずだった  
が、残って、たたみのほ  
こりを、はたいたり、  
ゆかに紙を敷いて、

のみ取りをふったり、その上にたたみを敷いたり、  
した。出来た時はとてもせいせいで、その後、銭  
湯に行った。

六月二十八日 (木曜日) 晴 古藤

今日は、午前中、授業があつた。

一時間目、自習でした。二時間目、國史でした。  
午後、からか  
部川へ洗たくし

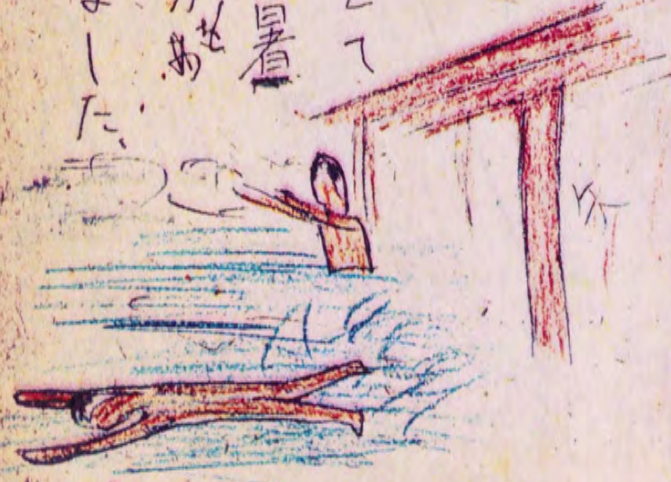
に行きました。

太陽がかんかんとして

りつけ、暑くも暑

いで、洗たくが

はつてから泳ぎました。





今年始めでしてとてまおし  
しうがった砂の所へ水あきびと  
たり魚を取ったりました



七月二日 (月曜日) 雨 本間

今日は休養でした。朝から雨が降  
つておりました。朝食をむすませて寮に歸  
り日記を書いたりしておますと、喜門  
先生がいらつしやうて、牛島中將し世  
の歌と、第聶隊長若本大尉し世の歌  
とを書いた紙を僕たちの室に一枚づつは  
つてくださりました。僕のある室は、大  
君のみことかこみ、今日よりは、火弾と  
なりて我は  
ふ歌でしだ。  
このとうくつ  
門先生に讀んで  
とて、まあもしうい  
征くなりじとい  
それからソロモ  
といふ本を喜  
ただきました。



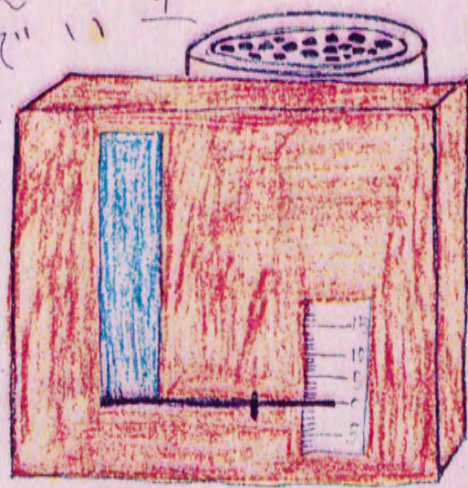


七月六日 (金曜日) 雨 (森)

今日は第四日目の授業をしました。二時間ごろから

とてもひどく雨が降って来ま

した。



二時間目の圖工は阿部先生がい

らっしゃいませんでした。短くもやうな書きました。四時間目の理科は外でやるのでした。雨が降って出さなかつたので、算数の

はいさんかんしゅうをしました。午後一時半から料學班のべんきやうがあるのにもつを寮へおいて、すぐ教室に行きました。ぢき加藤先生がいりしやつたのでやりました。はじめトランシットで山の高さを測る事をやって、次に福光の氣象をしました。そしてその表を作つて寮へかへりました。

寮へかへってから湿度計を作りました。途中おやつがありました。

七月七日 土曜日 雨 守口

今日は第五日目の勉強をしました。

第二時間目に學徒

隊へんせい

式のよこ

うえんしゅ

うがあまり

した。

僕たちは第六

中隊の第一

小隊で

した。

午後おや

つがあり

ました。

とてもお

いしいで

した。

夕食は

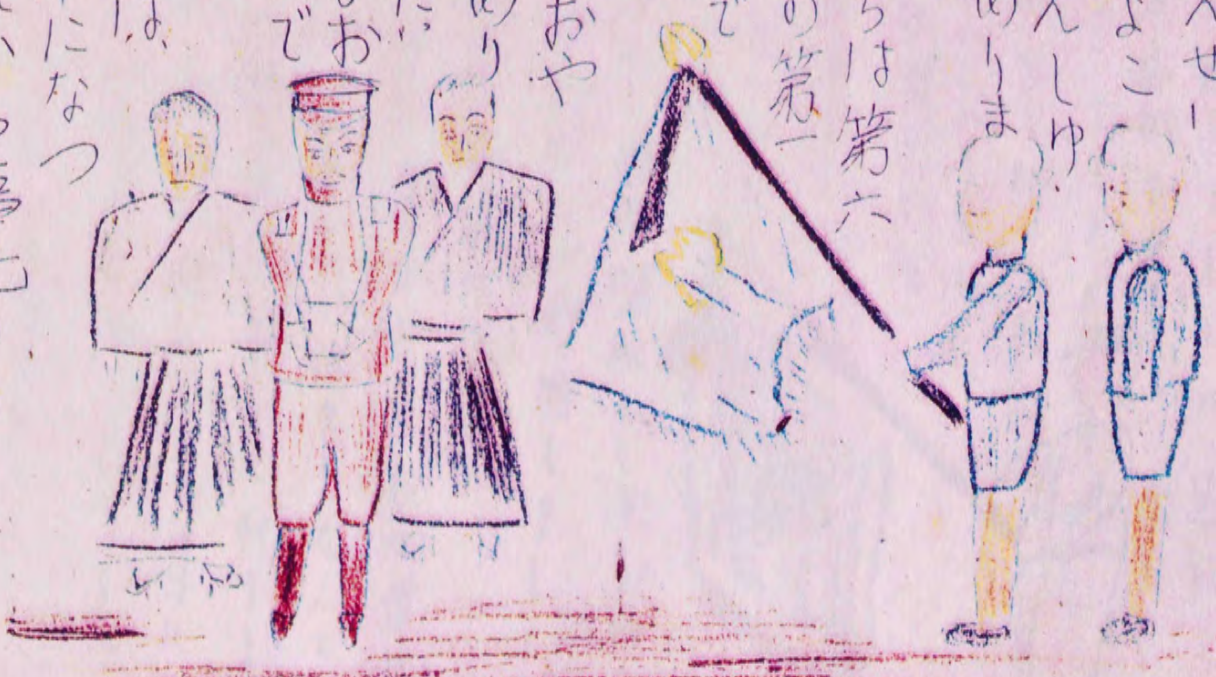
四時半になつ

てそれから福光のえき

にえいれいむかへに行

きました。

行く途中聖子お姉様と哲子お





姉様にあひましました。  
とてもうれしいでした。  
寮へ歸つて明日は五時に起きるり  
ですぐおねました。  
僕はお姉様がいらつしやつて喜しく  
てなかなかねむれませんでした。



七月十二日 (木曜日) 曇時々雨 河野  
今日は第四日目の授業をした。一時間目は算  
数のかうそをした。二時間目の凶工の時間も  
算数になった。三時間目は、武士のおもかげの  
馬ぞろへのかしゃくをした。四時間目に

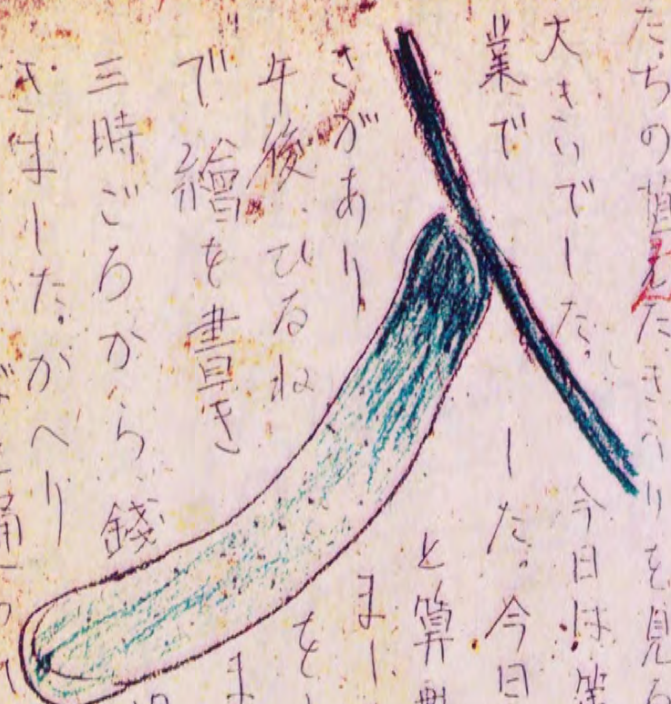


一時間目に書いたかりさを返へしていた  
 だ。その後、着物のよご  
 れをすのお話があった。午  
 後、午すねをした。三時ごろ  
 から研究班は授業があと  
 一週間ぐらね、續けていこうべ  
 るものご寮園に行つて見つ  
 けた。それを紙に書いた。夜、寮へ歸つて、一先  
 生に、ソロモンのどうくつの本を讀んでいただい  
 た。



七月十三日(金曜日)雨 古藤

今日は朝、点呼の時、雨がふつて、みま  
 し、ぼくはつまらなうと思ひました  
 清木が、認つてから、學園に行つて、ぼく  
 たちの植木を、まうりを見らると、いま  
 大まいでした。今日は、第四日目授  
 業で、今日は、國語  
 と算數の考



まじり  
 午後、ひるね  
 三時ごろから、錢  
 湯へ行  
 た小矢  
 部川のそばを通つて、歸へり  
 ました。



七月十七日 火曜日 雨時々曇 本間

今日は二日目の授業をしました。第一時は國語  
でした。十二炭焼小屋をしました。第二時は國史  
でした。今日は、前田先生を送るため十時半に書  
食用意になりました。晝食おすんでから、先生を  
か、日の  
らっしや  
まもなく  
二号教室で前田先生の



こころか、  
らっしや  
まもなく  
二号教室で前田先生の  
曾がありました。それか  
場まで、見送りに行きま  
した。宮地先生が、「ワッ  
おかしくなりまりました。學校へ歸って、少し教室に  
と喜門先生が、圖書館へ行つて、さきの本を讀み  
した。とてもおもしろいでした。夜、ぐらく曾が  
りました。今日は、石田先生を送るゆへ、外へ出すと、喜  
先生がおつしやいました。はじめに、僕たちとせりと  
やりました。それが終つてから、石田先生のおもしろ  
てまた、少し恐ろしいお話がありました。たぬきには  
これをお話でした。それから、宮地先生のまんじり  
お話もありました。夜、空襲警報が發せらる  
たので、暗やみで、防空ゆくこころをしてあま



七月二十一日 (土曜日) 雨

きのふは、いさしがり天気になったのに今日は、  
又しとしとと雨が降ってゐた。

六時起床して、すぐ洗面し、それから女学校の  
門前へしゅうごうして、石田先生をおおくりす  
る事になった。福光えきに行くも、また時間があ  
つたので軍歌えんしゅうを、しました。

そのうちに時間が来たので荷物車の方のプラ  
ットホームにはいって、おおくりしました。

かへつてすぐ朝食でした。  
朝食すんで寮へかへ  
つて、そうじをしました。

それからせんとんを  
しました。

それから、少したつて、  
三大夫の本を讀ん  
でいただけきました。

二じゆつは、とてもお  
も白かったです。

午後から、休養でし  
た。

三時ごろ本間君のお  
家から、おくつて来た。

きなこをいただけきました。とてもおいし  
いでした。

夕食後、きゆうりのおやが、ありました。  
これもおいしうでした。





それから、トランプをして遊びました。  
とても面白かったです。

七月二十一日（日曜日）晴 守口

今日は久し振りの天気なので小  
矢部川の上流の  
橋の所まで行  
きました。

久し振りの  
行軍なの  
です。

つかれま  
した。

午後待ち  
に待った

つりに行き  
ました。僕は

つりがぼを  
一人で使  
ふことに  
なりました。

めのうち  
はちつと  
もつれま  
せん。

たが終り  
ころに  
なるとは  
ぜが二匹  
取れまし  
た。

お風呂に  
は入りま  
した。そ  
れから  
た。そ  
も氣持  
がよい  
でした。





七月二十六日 木曜

晴

河野

今日は第三日目の授業をした。五年は図書館だった。授業は二時間目からした。國語は、ぼくの小馬をした。三時間目の國史は、第三なるの都へはいつた。その途中けいけいほうがあた。でもすぐかいじよになつた。四時間目の地理は、近江ぼん地の所をした。午後は寮へ歸つた。二時半からおやつがあつた。三時から、銭湯へ行つた。とてもすいてねた。いい氣持だつた。夕食後もいりごめのおやつがあつた。とてもおおいかつた。



七月二十七日(金曜日)

晴

古藤

今日も天氣がよくてとても暑かつた

第四日目の授業なので二時間目は算數で、三時間目は圖工でセリ圖をしました。点線を書いてみるととても暑くなりました。三時間目は國語でぼくの子馬の所を習ひました。午後は寮へ歸りました。とても暑いでひるねをしました。



七月三十一日(又曜日) 晴 本間  
今日は第一目の授業をじました。第一時は







八月四日(土曜日)晴 森

今日から、夏き特べつ訓練がおこなわれる  
事になりました。

午前中は水泳訓練でした。前とおなじ  
吉波寮の前の河原  
でした。

午前中  
なので初  
めはさむ  
いでし

たがだ  
んだん  
なれて  
来まし  
た。

今日は  
水泳の  
キヤウ  
ウが  
ありまし  
た。

僕は荒木君上野君三人でやりました。

僕は途中ふかい所ではききなしやうと  
思ったからおぼれキョウになったので喜門先  
生にたすけていたなききました。

向笠君はとてもうまいでした。

午後はゴすいでした。



ゴすいがすんでから、ハリ米と、キョウリのお  
やつがありました。キョウリは科擧班で作っ  
たのでした。

夕食後校庭で軍歌えんしゆうをしまし  
た。あすは早起行軍があるので七時消せう  
でした。

八月五日(日曜日)晴 守口

今日は四時半  
に起キテ、  
あんごう、  
寺方面の  
橋に行軍  
しました

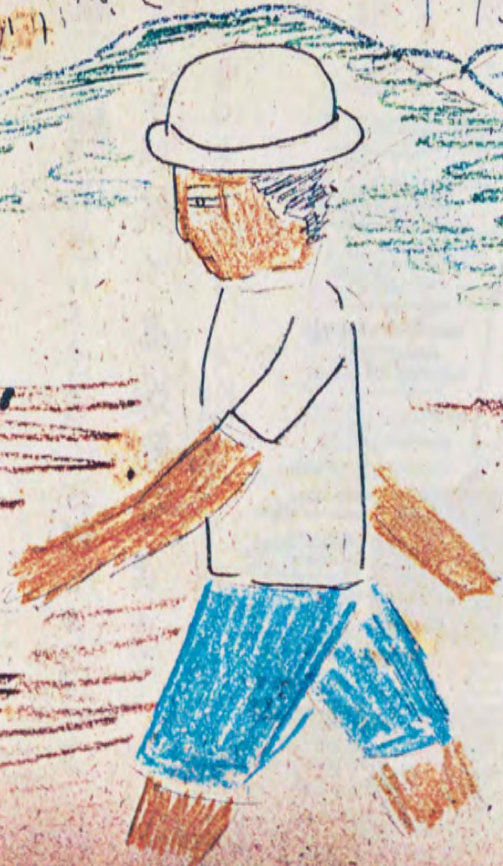
行と途中  
雲のキレ  
目から光  
が出てぬ  
きれいでも

た朝食は  
おなかす  
ておなか  
もあいら  
と

十時ごろ三須君  
が家のついで  
帰るのついで

までおくりに行きました

までおくりに行きました





午後じやが芋を運んで女學校でく  
たれてゐるのとわけました  
午後は水泳でした日光がはくわ  
ぬたのですこしさむいでした  
それからお風呂に行きました  
寮へ歸つておやつの入り米があり  
ましたとてもあいしいでした  
夕方科學班が寮園の草取りをし  
ました



八月十日

金曜日

晴

河野

朝食の後、宮地先生が、「九日に、白本とロシアと戦争を始めた」とおっしゃった。午前中、五年の科擧班は、寮園の草取りをしたり、なすや、きゅうりに薬をやったりした。その後、病院の兵隊さんへお問文を書いた。午後、寮へ歸つて、お問文をしあげたり、日記や葉書を書いたり、本を讀んだりしたり。三時ごろから、銭湯に行つた。その時、兵隊さんのはいる時問だつたが、ぼくたちだけ、特別にはいつた。はじめはぬるかつたが、だんだんといゝ氣持になつて來た。



た。夜、喜門先生がうちへお歸りになつた。

八月十一日

土曜日

晴雨

古藤

今日は午前中のみんがした。ぼくたちへ階段の木材をた。ぼくは、森君とた。その仕事が學校で日記をしました。午後、水泳でいた。福光橋の下でやりました。ぼくは見學でいた。三時にぢやがいのふかいたおやつがありました。とてきあひしいでいた。それからつと學校にしました。四時ごろになると夕立が降つて來ました。夕立ぶりに降つたのでびつくりしました。



な作業は、西尾寮運びまゝ運びまゝ。終つてから晝ソたり



八月十五日（水曜日）晴 本間

今日の明け方前ふと目をこますこ半鐘とサイレンの音が聞こえました。空襲警報です。みんなはもう目をこましておました。加藤先生が防空おくさうで目をこましておる。とおっしゃったので、床の上に起きておました。しばらく



すると、かいでたいひは、まじした。今日は、第四日目の校です。図書館でした。少し自習をしてある。たい重測定をしらとむかいに来たので、国民学校で、山口先生にはかっついた。たきました。僕は、おへつておました。おえた人

は、河野君一人でした。晝食後、重富君に御飯を持って行きました。そして、また、学校に來て、せきについておました。おると、與助先生が戦争の事は、だれとも話して、いけないと、おっしゃったので、僕たちは、ははいと、近所を去した。それから、学校で、水戸黄門の本を讀んでおますと、高澤や、西尾寮すく歸るんだって、と、いつたので、すぐ、金前に集合して、歸りました。寮で、待ておますと、西尾さんが、僕たち、西尾寮二十名に、こちこちをしてくださいます。おせきはんと、いろいろ、ごちそうがありました。とても、おいしいでした。それから、學校へ行きました。たろして、さなこのついた。ほちを合けて、ただ、いって、運動場へ運動をしたに行きました。はじめに、鐵棒をして、それから、すみの方に、あるタンクへのぼって、遊びました。それから、かけ足をしました。五回ぐら、おまはって、から、先生が教室へ這入れ、とおっしゃったので、這って來て、ぼちもち、ここと、芋をたべて、一つだけ、のこして、寮で、たべらことにしました。寮へ歸って、から、西尾さんの風呂へ這入りました。出て來て、から、ぼちもちをたべました。それから、西尾さんで、えんげい會をして、見せて、ださいました。その最中に、赤ちゃん、が、ふりちんで來て、うちには、と、持つて、よち、歩いたので、みんな、大笑ひしました。うんざと、かめの、げき、もありました。こいの、ちんどんや、の、うざは、洋おくが、おそろいなので、とても、されいでした。それから、僕たち、ちんどんや、なにや、おした、お、カッて、見



せましだ



八月十八日（土曜日）晴 森

今日は第一日目の授業でした。午前中おしへて下さる先生がい

らっしゃらなかつたので自習でした。

日記を書いておらう。

少學大年生など

の本をよみま

した。本もあ

まて来たので

荒木君と古藤

君と大坪君と

四人でドランプ

をした。三十一や

アウトをした。

アウトはとても面白かつたのでして

ぬるうちに晝食になつたのでとても

も早く感じました。

午後は寮で休養でした。加藤先生は、

つごわへじやうり取りにいっしやつて、三時

ごろおかへりになりました。

三時半ごろ旭湯へ行きました。ひさし

ぱりだったのでとてもあかが出ました。



湯からかへつて来てすぐ夕食でした。ねる前に西尾さんから、じゃが芋をい

ただいたので一つづついただきまし

た。

今日はもう

西尾さんの

せんめん

所が出

来たの

で西尾さ

んで顔

を洗ひ

ました

午前中

第二日目の

の授業を

しました習

字の時二玉

山門老木の

せい書をし

ましたが

僕と向笠

君は西尾寮

からおみそを

運びました。

八月十九日（日曜日）晴 守日



とても重いでした。ががんばつて運びました。歸つて見るともう習字がす



んでおたので二人はさうしを出し  
ました

午後寮へ  
歸りました

たとして國  
史のこころ

さをやり  
ましたわり  
とむずがし

いびした  
それから本  
をよんだり

晝寢をした  
りしました  
たよけんを

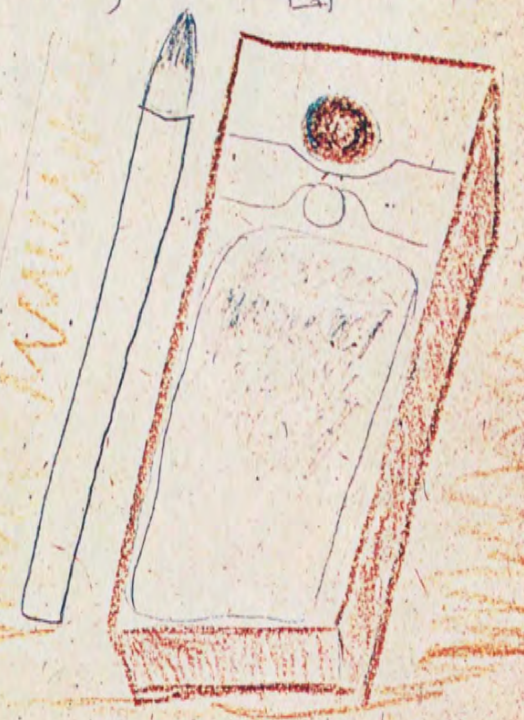
やつてしまつ  
たので氣持がさ  
つぱりしました

五時三十分前から西尾ヤエのお家の  
お風呂には入りましたとしても氣持が

よくなりました  
夕食はお芋でしたとしてもおいしいでし

た  
それからさうじでない人はお米運び  
をしてみました。が僕たちはさうじな  
のでしませんでした

二五山  
門老木



三部五年 守口孝三



八月二十四日

(金曜日)

曇

河野

今日は、第一日目の授業をした。校庭がぬれていたので、朝會は  
 やった。一時間目も  
 目も先生がいろいろし  
 なかったので日記を  
 たり、本を讀んだり  
 三時間目の図工は、  
 中心にして、方々を  
 せいた。全部出来な  
 ちに、時間が終わったので、こんどの時間にする事  
 になった。四時間目は自習をした。五時間目の  
 科學班の理科は、一日の生活について工夫した点  
 といふ題でいろいろしらべた。それがすんで、  
 寮へ歸つて見ると、喜門先生がお歸りになつ  
 ていらつしやうた。ぼくはうれしかった。



室内で  
 二時間  
 やら  
 書い  
 した。  
 木を  
 しゃ  
 いう



その後、本を讀んだり、トランプや將旗をし  
て遊んだ。とてもおもひかつた。夕食後、本間君と  
ぼくは、本田寮へ米運びに行ったので歸るのがおそ  
くなった。歸ってから、本間君のうちから送って來た  
いり豆のおやつを半分食べた。とてもおいしかった。

八月二十五（土曜日）曇雨 古藤

今日は、朝から曇りつておたとてもつまら  
なかつた。授業は第二日目でした。二  
時間目に地理のこうそががありました。  
とつぜんなものでびっくりしてしまひま  
したがやせーいので安べとまりました。

午後  
いま  
いま  
いま  
いま



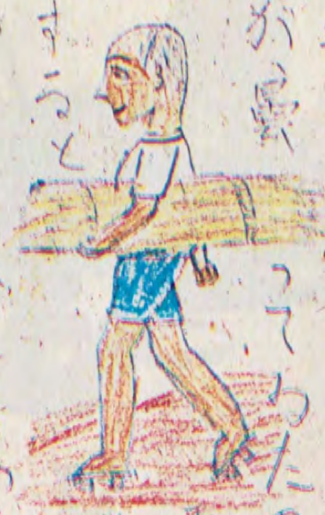
は蝶を取り  
た木に登つ  
たら落ちて  
ひまーたと  
びつくりし  
た。五時間目は

休みの時間んでリレーをしました  
た。ぼくたちは勝ちました。鐵棒も  
ました。がちつとも出きませんでした。  
とても残念でした。終つてから、錢湯へ  
行きました。あかがついておるので

ごしごし洗ひました。とてつぱはりしま  
した。夕方、夕がたをぬきました。とても涼し  
かったです。



八月二十八日（火曜日）曇 本間



今日は喜門先生が午前中水泳の上でい  
とおっしゃったが曇りだったので水泳  
の用意と第  
授業の用意  
行きました。すると  
の授業でした。朝會の後、さなふと同じや  
うに、行進のけいこをしました。が、さなふ  
みたいにはおぐなりました。第  
一時は、並木先生の音楽でした。海の三部合唱  
をしました。第二時は、喜門先生の國語で  
した。十五遠泳のところをしました。第三時  
は、阿久沢先生の算数でした。分数と小数の  
ところを習いました。第四時は、阿久沢先生  
が、どよよかへいらっしやうたので、算数の七  
んだいをやつてから、自習をしておきました。  
午後からの剣道は、ハ銀先生がいらっしやう  
ても、自習だったので、寮舎へ歸りました。歸  
る時、六人だけ、かんばんを持って歸りまし  
た。ぼくは、かんばんは運びませんでした。



八月三十一日 (金曜日) 雨 森

今日で第一学期はおしまひです。午  
前中第三日目の授業でした。五年生  
は図書館で雨がひどく降つてゐてど  
もなんざでした。

一時間目の國  
語は海峽を

行くの所をし

ました。三時

間目の國

史は宮地先

先がいらつしや

らなかつたので

日記を書いた

りしました。三

時間目算数は

少しお話があつて

面白かったです。四時間目の習

字は、

エ夫が作完成のところをしました。午後

は、月末大さうじで寮の大さうじをしま

した。あまりさむかつたのでその時少し

と着こんでしまひました。大さうじがす

んでからかんパンを五つづいただきまし

た。僕はふそくは一つもありませんでした。

夕食後科學班の當直日誌なので寮園

